

霧が丘地区

霧が丘地区別計画推進委員会

地域 霧が丘1～6丁目

区の西方に位置し、南側は旭区に接している。昭和54年に日本住宅公団（現在の霧が丘グリーントウン）の1次入居が始まり、昭和56年に十日市場町から区域変更された比較的新しい街。計画的に整備されていることが特徴的。緑豊かな公園が点在し、恵まれた自然環境は南側に隣接する新治市民の森に続く。住民の活動の場所として平成20年に横浜市初の小学校跡の建物利用として複合施設「霧の里」がオープンした。

<主な関連施設>

最寄駅：十日市場駅（JR横浜線）

震災時避難場所（地域防災拠点）：霧が丘小学校（旧霧が丘第二小学校）、旧霧が丘第三小学校

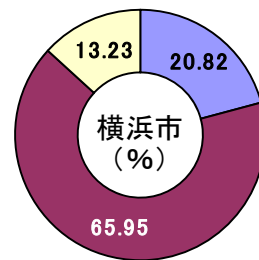
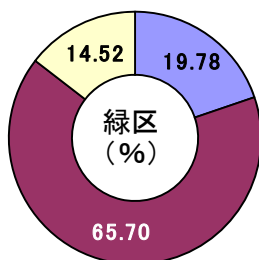
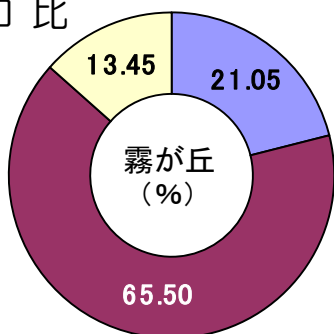
地域ケアプラザ等：横浜市霧が丘地域ケアプラザ

<年齢区分別人口>

平成24年(2012年)9月末

人口比

■高齢化率(65歳以上) ■生産年齢人口比率(15～64歳) □年少人口比率(0～14歳)



75歳～	821人
65～74歳	1,683人
15～64歳	7,790人
6～14歳	1,051人
0～5歳	549人
合計	11,894人

75歳～	15,259人
65～74歳	19,875人
15～64歳	116,732人
6～14歳	15,921人
0～5歳	9,876人
合計	177,663人

75歳～	352,985人
65～74歳	418,938人
15～64歳	2,445,039人
6～14歳	298,801人
0～5歳	191,501人
合計	3,707,264人

地区別計画推進委員会の開催状況

第1回

平成24年7月28日

17:30～18:40

霧が丘コミュニティハウス

- 推進状況報告
- 計画推進に向けた意見交換

通信No.3発行

第2回

平成24年12月22日

17:30～18:30

霧が丘コミュニティハウス

- 計画推進に向けた意見交換
- 各種活動に関する情報提供

通信No.4発行

緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」平成24年度地区別計画推進状況



霧が丘地区



防犯・防災・教育 日本一
の街を目指して活動しています。

★防災・防犯★

霧が丘地区では、毎年2回（夏・冬）の宿泊訓練・総合防災訓練を実施しています。平成24年度には、新たに年間を通じた小型ポンプによる放水訓練を実施しました。

また、地区の安全を向上させるために、定期的に防犯パトロールを実施するとともに、6月には交通安全教室を開催しました。



（写真：小型ポンプによる放水訓練）

★地域活動・つながり★

平成24年11月には、「ゆうゆう霧が丘 & 社協ふれあいまつり」を「霧の里」の施設と地区社協との連携により開きました。約800人の住民が参加し、交流を深めました。

その他に、学校、地域、PTAが一体となって実施する街の美化活動推進や、毎月の「健康チェック」等の取組も継続・発展させていきます。



（写真：ゆうゆう霧が丘 & 社協ふれあいまつり）

地区の取組を継続・発展させることで、霧が丘から「住みやすさ一番緑区」を目指して“つながり”の輪を広げていきます。

霧が丘地区別計画推進委員会



霧が丘地区別計画推進委員会
平成24年8月25日発行 第3号

霧が丘地区別計画推進委員会通信

平成24年度第1回霧が丘地区別計画推進委員会を開催しました！



(写真) 平成24年度第1回霧が丘地区別計画推進委員会 霧の里にて

平成24年7月28日(土)17時半から霧の里で、「平成24年度第1回みどりのわ・ささえ愛プラン霧が丘地区別計画推進委員会」を開催し、計画の推進に向けた意見交換を行いました。

実際に取り組みを推進していく立場の委員の皆さまから、現状の活動状況についての情報提供や、今後に向けた課題提起など、様々な発言がありました。



委員会での意見交換の内容（主な意見）

【計画全体について】

○霧が丘地区では、連合自治会や地区社会福祉協議会が様々な事業を行っており、かなりの部分が網羅されていると感じています。既存の取組を維持しつつ、さらに発展させていきたいと思えます。

【高齢者・障害者】

- 要支援者の方と一緒に避難する訓練を自治会で実施しました。高齢者の方も積極的にご参加いただきました。このようなつながり作りを今後も継続したいです。
- 日頃から支援が必要な高齢者の実態を誰がどのように把握するのが課題です。
- 一人暮らし高齢者が増えています。民生委員と連携しながら、どのようにケアしていくのか考えていく必要があります。
- 高齢者を狙った悪徳商法に関しての啓発を行っていただけると考えています。

【健康づくり】

- 保健活動推進員が、地域で健康チェックを毎月行っています。フットケアや乳がんの講演会、防災訓練の際の健康チェック等の活動も行っています。

委員会での意見交換の内容（主な意見）【続き】

【防犯・防災】

- 防犯パトロールに力を入れています、他の自治会の取組も参考としながら更に発展させたいと思います。
- 自治会によっては未加入者の多いところがあります。以前アンケートを行ったところ支援を求めている人のほとんどが自治会未加入者でした。
- 発災時に誰がどのような指示を出して避難するのか事前に整理が必要だと思います。
- 災害への備えについて、各世帯がどれだけ行っているのか把握できていません。個別に確認する必要性を感じます。

【担い手の確保・情報共有】

- 霧が丘地区別計画について、地域に積極的に伝えていきたいと思います。
- 自治会ごとに活動に温度差があります。民生委員のなり手がおらず苦勞している地区もあります。
- 交流会等を開催すると、参加者は集まりますが、それが自治会員の増加につながっていきません。今後の活動者確保の見通しが立たず、既存の活動を進めるだけでも精一杯の状況です。
- 各主体で実施する事業をより効果的に推進するため、連合、地区社協、ケアプラザ等がもっと連携していくことが重要だと思います。
- 地域の高齢者の情報を自治会が把握できていないため、地区社協や民生委員とも連携していけると更に良いと思います。



今後も、各活動の実施主体で引き続き本計画に関わる取り組みを継続・発展させ、霧が丘から「住みやすさ一番緑区」を目指して活動の輪を広げていきます。

「みどりのわ・ささえ愛プラン霧が丘地区別計画」とは

「みどりのわささえ愛プラン」（第2期計画：平成23年度～27年度）は誰もが安心して暮らし続けられる緑区を目指して策定された、社会福祉法に基づく計画です。本プランは「区計画」と、区内11地区の実情を踏まえて策定された「地区別計画」から構成されます。「霧が丘地区別計画」では、現在行われている取り組みについて、高齢者支援を中心に、継続・発展させていくこととしています。

- ・現在行われている取り組みを継続し、必要に応じて見直しを含めた再構築を行い、よりよいものに発展させていく。
- ・広報「霧が丘」、「防犯・防災・環境ニュース」の発行等による情報発信を行い、地域の方々に霧が丘で行われている活動について周知するとともに、参加者や担い手の増加につなげていく。
- ・「みどりのわ・ささえ愛プラン」の周知を行い、プランと霧が丘の取組の関係について、情報を発信していく。

霧が丘地区別計画推進委員会とは

連合自治会の役員、民生委員・児童委員、保健活動推進員の方々15人のメンバーで構成されています。

「みどりのわ・ささえ愛プラン霧が丘地区別計画」の推進に向け、地域の取組状況の共有や、目標達成のための具体的取組の検討等をおこなっていくための委員会です。



〈連絡先〉霧が丘地区別計画推進委員会事務局 TEL：930-2307（緑区高齢・障害支援課長 品田）



霧が丘地区別計画推進委員会
平成25年1月26日発行 第4号

霧が丘地区別計画推進委員会通信

平成24年度第2回霧が丘地区別計画推進委員会を開催しました！



(写真) 平成24年度第2回霧が丘地区別計画推進委員会 霧の里にて

平成24年12月22日(土) 17時半から霧の里で、「平成24年度第2回みどりのわ・ささえ愛プラン霧が丘地区別計画推進委員会」を開催し、計画の推進に向けた意見交換を行いました。

実際に取り組みを推進していく立場の委員の皆さまから、現在の活動状況についての情報提供や、今後に向けた課題提起など、様々な発言がありました。



委員会での意見交換の内容(主な意見)

基本目標1

地域での「つながり」を大切にするまちづくり

- ・今年度はこれまで、盆踊り大会や大運動会などを実施してきました。年明けには、どんど焼きや新春歩こう会などについて実施する予定です。
- ・「ゆうゆう霧が丘&社協ふれあいまつり」については、今年度は初めて4者(スポーツ広場、ケアプラザ、コミュニティハウス、地区社会福祉協議会)共同で地域全体を対象に開催することができ、来場者数約800人と、多くの方に参加いただきました。今回はバザーをやめ、フリーマーケットを開催しました。多くの方が来てくれて、地域での「つながり」づくりという目的を達成できたと思います。

基本目標2

「一人ひとりの力」が発揮できるまちづくり

- ・ボランティア相談室は、現在、「ミモザ霧が丘」を拠点に活動しています。活動の周知がもっと必要だと考えています。
- ・地域全体が高齢化してきていることから、ボランティアの担い手確保は今後重要となってきます。現状でも、高齢者や乳幼児のいる家庭から相談を受けて、ボランティアを紹介しています。また、中学校へは、高齢者や妊婦の疑似体験や、赤ちゃん教室等を行っています。また、小学校には、ミシンの体験や、戦争体験を伝える活動を行っています。

裏面に続きます！

基本目標3

みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり

- ・「花いっぱい活動」として花苗を配布しました。自治会に入っていない方も含め沢山の方の参加がありました。「ゆうゆう霧が丘&社協ふれあいまつり」では、霧が丘高校の生徒も協力してくれました。少しずつ交流が広がっていると思います。
- ・ケアプラザでのコーラスサロンについても順調に活動できています。今後は霧が丘地区内で開催するものを中心に力を入れていきたいと考えています。
- ・霧が丘会食会は継続して実施できていますが、ボランティアの負担感を軽減していくことは課題だと思っています。

基本目標4

必要な「情報」が入手しやすいまちづくり

- ・最近外国の住民の方が増えてきています。ゴミ出しなどのコミュニティのルールをどのように共有していくかが課題だと思っています。

基本目標5

「安心・安全・健康」のまちづくり

- ・防災については年2回（夏・冬）防災訓練を実施しています。また、防犯については、各自治会でパトロールをやっており、成果があがっていると思います。環状4号線の店舗の駐車場での上荒らしが増えているので、注意喚起が必要だと感じています。
- ・健康づくりについては、ケアプラザにおいて探検ウォーキングを、年6回、30人程度の規模で活動を継続しています。
- ・災害時の要援護者の救助については、実施体制の問題など、実施するには多くの課題があると感じています。



今後も、各活動の実施主体で引き続き本計画に関わる取り組みを継続・発展させ、霧が丘から「住みやすさ一番緑区」を目指して活動の輪を広げていきます。

「みどりのわ・ささえ愛プラン霧が丘地区別計画」とは

「みどりのわ・ささえ愛プラン」（第2期計画：平成23年度～27年度）は誰もが安心して暮らし続けられる緑区を目指して策定された、社会福祉法に基づく計画です。本プランは「区計画」と、区内11地区の実情を踏まえて策定された「地区別計画」から構成されます。「霧が丘地区別計画」では、現在行われている取り組みについて、高齢者支援を中心に、継続・発展させていくこととしています。

- ・現在行われている取り組みを継続し、必要に応じて見直しを含めた再構築を行い、よりよいものに発展させていく。
- ・広報「霧が丘」、「防犯・防災・環境ニュース」の発行等による情報発信を行い、地域の方々に霧が丘で行われている活動について周知するとともに、参加者や担い手の増加につなげていく。
- ・「みどりのわ・ささえ愛プラン」の周知を行い、プランと霧が丘の取組の関係について、情報を発信していく。

霧が丘地区別計画推進委員会とは

連合自治会の役員、民生委員・児童委員、保健活動推進員の方々15人のメンバーで構成されています。

「みどりのわ・ささえ愛プラン霧が丘地区別計画」の推進に向け、地域の取組状況の共有や、目標達成のための具体的取組の検討等をおこなっていくための委員会です。



〈連絡先〉霧が丘地区別計画推進委員会事務局 TEL：930-2307（緑区高齢・障害支援課長 品田）